

研究プロトコルの査読にあたって

編集委員会

2026年7月21日制定

本学会誌における「研究プロトコル」論文

本学会誌における「研究プロトコル」論文は、健康教育・ヘルスプロモーション研究の発展に資する研究計画を事前に公開する論文です。介入研究、追跡研究等のデザインで、研究実施開始からデータ収集完了までに一定の時間を要する研究を対象とし、次の3点をねらいとしています。①研究実施の透明性と再現性を高めること、②研究者間の方法論的共有や相互学習を促進すること、③研究計画の段階から質の高い研究を支援すること、です。研究の規模は問いませんが、研究の背景・目的・方法・解析計画・倫理的配慮については明確に示したものである必要があります。

プロトコル論文は、将来的に報告される研究成果の信頼性を高める基盤となるとともに、他の研究者にとっても研究デザインや測定方法を学ぶ貴重な資料となります。研究の透明性や再現性の確保が重視される今日において、研究プロトコルの公表は、結果論文と並んで学術的に重要な意味をもちます。

査読上の留意点

1. 原則として、介入研究ならびに追跡研究の計画を対象とします。ただし、それ以外の研究デザインであっても編集委員会の判断により受け付ける場合もあります。
2. 投稿時点でデータ取得前の研究プロトコルを受け付けます。ただし、データ取得を開始し、データ取得完了前の研究については、進行状況等を考慮し、編集委員会で判断したうえで受け付ける場合もあります。
3. 「研究プロトコル」論文は研究倫理審査の承認を必須しており、さらに研究倫理審査承認後12か月以内についてのプロトコルを受け付けています。承認年月日は方法セクションの中に記載することとしています。
4. 最新の研究報告ガイドラインに準拠して原稿作成をし、本文中方法セクション冒頭に研究デザインとともにどのガイドラインに準拠しているかを明記することとしています。具体的には、ランダム化比較試験はSPIRIT声明、行動介入および公衆衛生的介入を評価した非ランダム化研究報告はTREND声明、観察研究（追跡研究や横断研究など）はSTROBE声明に準じます。本誌ではガイドラインチェックリストの提出を求めています。査読にあたっては準拠しているガイドライン本文を併せてご確認ください。

5. 介入研究デザインの場合には，公開データベース等に登録している必要があります．観察研究の場合にも，公開データベース等に登録することを奨励しています．
6. 本誌投稿論文の抄録は構造化する必要がありますが，「研究プロトコル」では本文にあわせて，「緒言」「方法」「考察」とします．「研究プロトコル」も英文タイトルおよび英文抄録（250words以内）が必要です（和文抄録は 600 字以内）
7. 本文の構成は以下です

I 緒言	背景と目的
II 方法	対象と方法. 準拠した報告ガイドライン，倫理的配慮や公開データベース等への登録情報に関しても記述してください．※公開データベース等への登録は，介入研究は必須，観察研究は奨励としています．
III 考察	本研究で期待される成果や，実践への応用について記載してください．
本文	（必要な場合）
謝辞	原稿執筆・図表作成等において生成AIを補助的に利用した場合はツール名，バージョン，使用目的を開示してください．使用していない場合でも，その旨を記載してください．（例：本論文の作成において生成AIは使用していない）
生成AI使用の開示	利益相反に該当しない場合でも，その旨を記載してください．（例：利益相反に相当する事項はない）．
利益相反	執筆要領の「2. 原稿作成上の注意」にしたがい，引用順に示してください．
文献	

以上